

令和3年度「地域と共にある学校づくり」リーダー研修会 実施報告

- 《実施期間》 令和4年2月7日(月)～2月18日(金)
 《実施方法》 Google Classroom 又は YouTube を利用したオンデマンド研修
 《対象》 ○市内の公立の幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員
 ○学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員等(地域コーディネータ含む)
 ○各市町村教育委員会の地域学校協働活動及びコミュニティ・スクール担当者 計 115名

《内 容》

- ◆挨拶 人権・地域教育課長 大橋 淳
- ◆実践報告 五條市立牧野小学校(牧野小学校コミュニティ協議会)
 「地域クラブ活動」-地域とつなぐ 地域がつながる-
 報告者 校長 西岡 康洋、教頭 杉崎 栄一
 県立奈良西養護学校
 『地域と共にある学校づくり』～ここにあってよかった奈良西養護学校～
 報告者 教諭 谷村 祥晃
- ◆講 評 天理大学教授 佐々木 保孝
- ◆講 演 天理大学教授 佐々木 保孝



『「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進」をどう考えるか?』

【講演の概要】

文部科学大臣表彰の審査基準から、地域学校協働活動を推進していくにあたって、何を大事にしていくべきかについて解説していただいた。また、学校と地域との協働体制の確立に向けて、学校として、地域として、行政として、各々で何が必要になってくるのかについて講演いただいた。

【参加者の感想】

《実践報告》

〈五條市立牧野小学校〉

- ・子どもの課題を、学校・地域の課題としてとらえ、地域の方の協力を得られるような取組をうまく教育課程に落とし込んでいると思った。
- ・校内に地域の方々の居場所(ふれあい教室)をつくるという発想とそれを実現された実行力は素晴らしいと思う。その基盤をもとに地域クラブ活動という、地域と学校がウィン・ウィンの関係にある理想的な地域学校協働活動が行われていると思った。
- ・学校だけでなく地域の活性化にもつながっている取組に、前向きな気持ちになった。

〈県立奈良西養護学校〉

- ・特別支援学校の教育目的・理念を基に、学校にとどまらず地域そのものを変える(福祉モデル地域をめざす)活動、地域の特別支援の拠点となる活動をされていて、その発想と実践力は素晴らしいと思う。
- ・地域の行事を学校内で開かれたり、『しごと』学習において実社会で生き抜く力を育てられたり、地域学習で老人・ボランティア・大学生・幼児など多様な人々との協働を体験させたりする取組はとても参考になった。
- ・地域に入っていくことによって、人権が尊重された地域社会を目指す取組をされていることが素晴らしいと思う。

《講 演》

- ・学校運営協議会と地域学校協働本部の位置付や一体的な推進について、自分の考えが整理できた。
- ・本校でも一定程度の地域学校協働活動が行われてきたが、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を両軸として、今後一層取り組まなければならないと認識を新たにした。
- ・もう一度、地域の教育資源等を活用して、多様な活動がどのようにしてできるのかを考えていきたい。
- ・地域学校協働活動の目的や成果等、自地域でもしっかりと検証して、今後の実りある活動につなげていきたい。

子ども教育課題解決のために、学校と地域が連携・協働する取組を推進するための知識・理解が深まった。



本研修会の内容は、今後の「地域と共にある学校づくり」の推進に活用できるものだった。

